

がん、ガンと癌

2013年8月13日

医学用語では、「がん」と「癌」は使い分けられています。

がんはすべての悪性腫瘍をさし、癌、肉腫、白血球、リンパ腫がふくまれます。
「がん」と「ガン」は同じ意味です

上皮細胞が悪性化(がん化)したものを「癌」と漢字で書きます。
胃癌、大腸癌、食道癌、膀胱癌、子宮癌などがそれです。

一方、上皮細胞以外の組織(筋肉、骨、血液細胞、リンパ球など)が悪性化(がん化)したものは肉腫、リンパ腫、白血病などと呼ばれています。



■がん＝悪性腫瘍全体の事を指す

■癌＝悪性腫瘍のうち上皮性のものを指す

まず、上皮(細胞)組織には大きく分けて6つの種類があり、それを代表する部位を表にしました。
水、食べ物、空気などが口から入り、肛門で出るまでの間の部位

【種類】 -----【代表的な部位】

- 1-単層扁平上皮-----血管内皮、肺胞
- 2-重層扁平上皮-----皮膚(表皮)、口腔、食道
- 3-円柱上皮-----消化管粘膜上皮(胃、小腸、大腸)
- 4-線毛(多列線毛)上皮-----気管、鼻腔、卵管
- 5-移行上皮-----膀胱、尿管、腎盂、腎杯
- 6-立方上皮-----尿細管、甲状腺の濾胞上皮